

大学生と農山漁村との連携事例



摂南大学

実施主体名: 高橋梨音 島津明里沙

(農学部食農ビジネス学科農水産物・食品マーケティング研究室)

担当窓口

高橋、島津

URL

<https://www.instagram.com/egaono.marche?igsh=MTBsM2txdTc0Z2c0cQ==>



活動内容

有機農業の援農活動・農業体験/有機農産物の販売の企画・実施/Instagramで農業についての発信



きっかけ

「高橋は摂南大学外国語学部に通っていたが、食に関心を持ち、農の現場を見て学びたいという想いで、自ら農家に打診し、2021年から穂谷自然農園の農作業に参加しはじめ、2022年に農学部へ転学部した。そこで有機農業の実践を希望していた島津と出会い、二人で一緒に農園へ通うようになった。

その中で、枚方では有機農産物を購入できる機会が少ないこと、消費者が農業に触れる機会が少ないことを実感し、自分たちで農業体験や有機農産物のマルシェを企画し実施するようになった。」参考文献：副島・大坊，大阪農業振興協会ブックレットNo.4『大阪の農と食を支える女性たち』，大阪農業振興協会，2024年，pp.71-74.

展望

これから先もずっと必要である農業を実践していく。自然の恵みによって生かされていることに感謝し、自然を大切にしたい持続可能な農業に取り組む。これから先の世代が安心・安全な食べ物を食べられるよう、私たちの世代から有機農業などの循環型農業が成り立つ仕組みを作る。



農業体験の記念撮影



収穫の様子



マルシェの様子